

施策－3 減災、安全・安心のまちづくり

減災のまちづくりの推進

広域緊急交通路、モノレールの耐震性強化

災害時においても安全で円滑な通行を確保するため、広域緊急交通路における橋梁やモノレールの支柱や桁等の耐震補強工事を実施しています。(完了予定年度 モノレール：H26 橋梁：H32)

◆事業箇所

国道 371 号 野間里跨道橋、大阪臨海線 助松橋
大阪モノレール彩都線 阪大病院前～万博記念公園

など



橋脚補強

橋脚の外周に鋼板を巻いたり、コンクリートを内部に充填するなどにより、丈夫にして、地震時に橋脚の倒壊を防止します



落橋防止対策

橋脚と桁をケーブルで連結し、地震時の桁落下を防止します



鉄道施設の耐震性強化

利用者等の安全確保、並びに広域緊急交通路等の機能確保のため、鉄道事業者が実施する耐震補強事業に補助を行います。

◆H26 補助対象箇所

- ・近鉄大阪線 鶴橋駅
- ・南海本線 難波駅
- ・北大阪急行 江坂駅～桃山台駅
- ・京阪本線 枚方市駅、守口市駅
- ・阪神なんば線 西九条駅

道路の無電柱化

地震時に電柱の倒壊などによる道路閉塞を防止し、緊急車両の進入路・避難路として機能する道路を確保することにより、円滑かつ迅速な避難・救援活動を支援します。

また、重点整備地区内の生活関連経路を中心に、歩道の有効幅員を阻害する電柱を地中化することで高齢者や障がい者など全ての方が安全で快適に利用できる歩行空間を確保し、バリアフリー化を推進します。



大阪高槻京都線（吹田市）

◆事業路線

国道 479 号（吹田市）、大阪枚岡奈良線（東大阪市） など

交通安全対策・バリアフリー化の推進

歩行者の安全・安心の確保

交通量が多い道路や通学路に指定されている道路について、歩道の整備や歩行空間の明示などにより、歩行者の安全・安心の確保を図ります。

◆事業箇所

- ・枚方茨木線（枚方市）
- ・国道170号（和泉市）
- ・通学路の緊急合同点検による要対策箇所 など



歩道の整備
枚方茨木線（枚方市）



カラー化

路肩のカラー化（歩行空間の明示）
柳谷島本線（島本町）

自転車総合対策

大阪府交通対策協議会で定めた「自転車安全利用推進のための重点行動指針」に基づき、「ルール周知・安全教育」、「指導取締りの強化（※）」、「自転車通行空間の確保」の3本柱により自転車安全利用推進の強化を図ります。

（※）指導取締りの強化は大阪府警による取組み

①ルール周知・安全教育

- ・主に中学生、高校生、高齢者の方を対象に、府警や府教育委員会等と連携し、自転車シミュレータの活用による参加・体験型交通安全教室を積極的に導入するなど、自転車利用者の交通ルール遵守、交通マナーの向上を図ります。



自転車シミュレータの活用

②自転車通行空間の確保

- ・国のガイドラインに基づき、車の速度や交通量等にに応じた自転車通行空間の確保に向けた取組みを進めます。

◆事業箇所

- ・豊中亀岡線（豊中市）
- ・信太高石線（高石市）
- ・八尾道明寺線（八尾市）



自転車レーンの設置
大阪高槻京都線（茨木市）

- ・自転車の通行位置・進行方向が利用者に直感的に理解できるような路面表示の設置



大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領より

歩道のバリアフリー化

駅を中心とする地区や、高齢者、障がい者が利用する主要施設を結ぶ地区など（重点整備地区）について、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進します。

- ・車いす等が安全、円滑に移動できるよう歩道の段差、勾配を改善。
- ・視覚障がい者誘導用ブロックを適切に配置。

◆事業路線

- ・箕面摂津線（吹田市）
- ・堺阪南線（泉大津市）
- ・泉佐野岩出線（泉佐野市）

など



大阪生駒線（大東市）

歩行者の安全と安心を確保する踏切整備

踏切における歩行者の安全と安心を確保するため、歩車道境界の明示、歩道設置、バリアフリー対策、点字ブロックの設置などに取り組んでいます。

◆事業路線

- ・富田林泉大津線（河内長野市） など



歩車道境界明示
山本黒谷線（八尾市）



踏切内歩道設置
泉佐野熊取線（泉佐野市）